

「夢を育み、感動・笑顔・歌声あふれる学校」

東野小学校 だより6月号

学校教育目標

おおらかで たくましく
進んで学ぶ子
地域とともに生きる子



新座市立東野小学校

令和8年 5月29日(金)

TEL:048-479-7280 ホームページ

FAX:048-482-6794 QRコード →



みんなちがって みんないい

校長 齋藤 伸一

若葉の緑がいっそう深まり、紫陽花のつぼみもふくらみ始め、梅雨入りの時季を迎えます。今年は5月だというのに最高気温が30度を超える日もあり季節の進みの早さを感じます。一方で、雨の日には肌寒さを感じることもあり、気温の変化が大きい時期でもあります。季節の変わり目は、体調を崩しやすくなります。健康管理へのご配慮をよろしくお願いいたします。

さて、5月の全校集会で、詩人の金子みすゞさんの詩を紹介しました。3年生の国語の教科書にも掲載されています。

「わたしと小鳥とすずと」
金子みすゞ

わたしが両手をひろげても、
お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのようじ、
地面をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても、
きれいな音はでないけれど、
あの鳴るすずはわたしのようじ、
たくさんうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。

空を飛べる小鳥、音を鳴らす鈴、そして、そんなことはできない「私」。でも「私」は、走ったり、歌ったりすることができる、という詩です。この詩は、誰もがちがった個性やよさをもっていて、それぞれが大切な存在であることを伝えています。東野小学校の子供たち一人一人も、特別で大切な存在です。この詩の中に出てくる「みんなちがって、みんないい。」という言葉のとおり、子供たち一人一人には個性があり、それぞれのよさやがんばりを互いに認め合い、相手も自分自身も大切にして生活してほしいと思います。

本校には、普段過ごしている教室以外にも、にこにこルーム（教育相談室）を利用する子供や、ふらねっとルーム（通級指導教室）に通う子供などがいます。どの場所も、その子供たちが自分のもっている力を発揮しやすくするための大切な学びの場所です。誰にでも、「できるようになりたい」「もっと上手になりたい」と思ってがんばっていることがあります。上手になるための方法や場所は、いろいろあります。そして、子供たちの中には、さまざまな学び方をする子がいます。ゆっくり話を聞くとわかりやすい子、静かな場所だとがんばれる子、少ない人数だと落ち着ける子などがいます。人それぞれ、できることやがんばり方はちがいます。普段の教室ではなく、ほかの場所で過ごす人がいたとき、それはその人に合った学び方で勉強したり生活したりするための大切な学びの場なのです。子供たちには、「ほかの場所で過ごす人のことを、自分とちがうからと言って変な目で見たり、からかったり、嫌な言い方をしたりすることは、とても悲しいことであり、絶対にしてはいけない」と話しました。学び方がちがうことは、悪いことでも、恥ずかしいことでもありません。学校は、誰もが安心して学び、友だちと過ごせる場所でなければなりません。そのために、相手のことを決めつけず、ちがいを認め合い、思いやりの心をもって行動していくことが大切です。

今後も、金子みすゞさんの詩にある「みんなちがって、みんないい。」という言葉のとおり、子供たち一人一人の個性やよさ、がんばりを互いに認め合い、相手も自分自身も大切にしながら、みんなが笑顔で過ごせる学校づくりを全教職員で進めてまいります。